

新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

※施設貸与での対策の確認用にご記入いただき、事前に提出いただくものです。「利用者名簿（利用申込書等）」に必ず添付してください。

利用団体名：

代表者氏名：

（連絡先 — — ）

配慮事項	内容	具体的な対策方法	チェック欄
■基本的な感染症対策の実施 ※必須：すべてのチェック欄に✓が必要です。			
感染源を絶つ	発熱等の風邪の症状が見られる利用者については、施設に来館しない。	利用者の中で体温記入表を作成し、来館前に体温を記入の上、お互いに確認する。	
		施設内に持ち込む器具等は各自で消毒する。	
		発熱等の風邪の症状がある場合、体調がすぐれない場合は参加しない。	
感染経路を絶つ	手洗いや咳エチケットを徹底するよう利用者に求める。	施設敷地内では、利用者全員マスクを着用して参加する。利用者で私物の除菌用に除菌グッズを用意する。	
		活動開始前の手洗い、活動後の手洗いを必ず行う。	代表者が開始前に30秒手洗いをしたか確認する。 全員の手洗いが完了するまでは、館内の機材等に触れない。
■集団感染のリスクへの対応※「密閉」「密着」「密集」対策の「具体的な対策方法の項目」について、それぞれ1つ以上（項目によっては2つ以上）✓が必要です。			
密閉しない	窓を開けて利用するか、1時間に10分間の換気を行う。	利用中は窓を開ける。	
		1時間ごとに10分間の換気を行う。	
密集しない	多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮を行う。（部屋の定員の1/2の人数で利用する。	利用者同士の距離を最低1m以上空ける。	
		最低1m以上間隔を空けるために、利用人数を制限する。（部	

		屋の定員の1/2の人数もしくはは単一世帯に制限する)	
密着しない	①近距離での会話の際のマスクの着用	マスクを全員着用する。	
		対面着席しない。	
		対面着席の場合は、なるべく1m以上距離を空ける。	
	②直接手と手の接触を伴ったり身体的接触のある場所での感染防止策を講じること。	食堂・浴室・トイレ等、同時に利用または混雑する場所では定期的な換気や消毒等を行う。	
		手や口が触れるようなもの(コップ、箸など)は、適切に洗浄及び消毒するか使い捨てにする。	
■連絡体制 ※必須：すべてのチェック欄に✓が必要です。			
連絡先	利用者名簿を作成する。	宿泊代表者は「氏名」「連絡先」を記入する。	
		感染者(感染の疑いがある者も含む)が出た場合は、利用者及び赤坂支所産業建設課に連絡する。	
		感染者(感染の疑いがある者も含む)が出た場合は保健所などに連絡をとり、対応できる体制をとる。	

※利用中に、チェックリストの内容が守れていないと判断した場合は、利用を中止していただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。